

令和 7 年

駒ヶ根市教育委員会 第 1 回定例会

会 議 録

駒ヶ根市教育委員会

令和7年駒ヶ根市教育委員会 第1回定例会議事日程

告示年月日 令和7年1月17日（金曜日）

開催年月日 令和7年1月28日（火曜日）

開催場所 駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室

開会時刻 午後2時00分

閉会時刻 午後2時32分

- 1 開会
- 2 教育長報告
- 3 事業報告及び事業計画
 - ・定例教育委員会 2月28日（金）午後2時00分～保健センター2階 大会議室
 - ・臨時教育委員会 2月28日（金）定例教育委員会終了後 保健センター2階 大会議室
- 4 審議案件
なし
- 5 協議事項
 - （1）第3次駒ヶ根市教育振興基本計画の策定について
- 6 報告事項
 - （1）行事共催等承認申請の専決処分について
- 7 その他
 - （1）市内小中学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について
 - （2）第2回定例会、第3回臨時会の開催について
- 8 閉会

出席者

教 育 長	本 多 俊 夫
教育長職務代理者	唐 澤 浩
委 員	木 下 健 一
委 員	山 田 恵 美
委 員	小 池 文 弘

欠席者

なし

委員以外で会議に出席した者

教育次長	赤 羽 知 道
子ども課長	水 野 毅
社会教育課長	木 下 岳 士
教育総務係長	倉 田 さおり
教育総務係	宮 澤 朋 子

傍聴：１人（うち報道機関１人：長野日報社）

会議のてんまつ

議事日程記載のとおり

午後2時00分 開会

1 開会

○本多教育長 こんにちは。（一同「こんにちは」）

ただいまから令和7年駒ヶ根市教育委員会第1回定例会を始めたいと思います。よろしくお願いします。

2 教育長報告

○本多教育長 寒中暖ありだなということで、今日は朝から少し暖かいですが、今夜夜半からはちょっと雪が積もるのではないかという予報であります。昼に山のほうを見ましたら、西駒もふぶいておりました。南信のほうは僅かな雪でも弱いというところがありますので、十分気をつけていただければと思います。

今年もよろしくお願いします。

「ちょっと立ち止まって」のところに書きましたが、正月、学校の校庭にたこ揚げをする父と子の姿がありました。コロナ禍を挟んであまり見ていないなと思ったものです。たこは、和ではなく、ゲイラカイトでしたけれども、ああじゃない、こうじゃないと言いながら2人で揚げておりました。たこ揚げは昔からありましたけれども、夢と希望を空高く揚げているのだなと思うと、ああ、いい光景だなと思ったわけです。

冒頭の俳句にもございますけれども、昔ながらの行事の中には子どもたちの夢と希望が込められているからこそ、内から育っていく基ができるのではないかと考えたところでございます。

「どんど焼き 餅は火だるま 芋焦げて」読み人知らずであります。こんな経験は私も何度もありました。

昔の人は季節の変わるたびに様々ないわれを大切にしてきたのですけれども、その価値を大人が地域でいま一度確かめ合い、歴史とつなげていく必要があるのではないかと思います。

たまたまどんど焼きに行っていた嫁と孫に「遠くから見ていたらたくさん人が集まっているようだけれども」と言ったら「そんなことない。去年よりも少ない。大人が多いだけで子どもは5人しかいなかった」というのです。集まる人数は少なくとも、その価値はぜひ次へつなげていってほしいと思います。

2ページの「考えさせられたこと2」のところです。

正月明け、6日に市長が庁議の年頭の挨拶で、新聞の見出しに民主主義の危機とあったと、普通はそれぞれの新聞社の特徴を出すために異なるのだけれども、たまたまみんな一緒だったというようなことで3紙を紹介していました。

そんな話の中で、カール・ポパーの「寛容のパラドックス」という本を読んだという話がございまして、そこには、簡単に言うと、寛容は大事だと、だが、大事だからと言って聞き過ぎると大変なことになると、ある程度の制限は必要だと、そういうような内容のことが書いてあるということでございました。

聞けば当たり前とも取れるような内容かもしれませんが、今の時代はちょっと過ぎている状況

があまりにもありはしないかと、特に教育現場には何でも許容、寛容せよというような無言の圧力がかかっているような風潮が私には感じられます。

子どもや先生方、現場が元気であることで次世代を担う子どもたちが健全に育つのではないかと思います。そのためにも、教育委員会として防波堤にならなければならないと感じたところでございます。

1 ページの真ん中ほどの「先達の教え1」、立川談慶のところですか。立川談志から学んだことの中に「一見すると不合理で矛盾極まりない行為の中に、成長の可能性が含まれているのではないか。」とか、「挑戦しないことこそ、一番の失敗だ。」とありました。

2 ページのほうに行って、「考えさせられたこと1」では、人材育成 J A P A N の永松さんの母親の言葉で、「非効率だから感動するの。私一人のためにここまでしてくれた。そう思ったときに感動が生まれる。」と、この言葉をもらったということでありました。

本年のスタートに当たって、短いのだけれども含蓄のある言葉を載せさせていただきましたので、またお読みいただければと思います。

本日もよろしくお願いいたします。

3 事業報告及び事業計画

○本多教育長 それでは事業報告及び事業計画をお願いします。

〔赤羽教育次長 事業報告及び事業計画資料により説明〕

○本多教育長 事業報告及び事業計画について、何か御意見、御質問等ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 定例教育委員会は次回が2月28日午後2時からここということになります。引き続いて臨時教育委員会です。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 よろしくをお願いします。

4 審議案件

なし

5 協議事項

（1）第3次駒ヶ根市教育振興基本計画の策定について

○本多教育長 審議案件はございませんので協議事項のほうに移りたいと思います。

第3次駒ヶ根市教育振興基本計画の策定について、お願いします。

○倉田教育総務係長 資料の5ページから11ページまでになります。

こちらは以前にも御説明させていただきましたけれども、この計画の策定趣旨は駒ヶ根市第5次総合計画に示す駒ヶ根市の将来像「愛と誇りと活力に満ちた駒ヶ根市」を実現するための教育分野における計画として定めるものです。

計画の位置づけについては資料のとおりです。計画の期間は令和7年度～令和11年度の5年間です。

6 ページから 10 ページに第 2 次教育振興基本計画の施策についての現状と課題、振り返りを載せてあります。こちらを基に問題点と改善点を洗い出しまして、基本理念の設定をします。それに対して目標と具体的な施策を載せます。その後、関係者や議会や教育委員会のほうとも協議をいたしまして、パブリックコメントを行い、計画へ意見を反映させていくようにします。

今後の予定は 11 ページです。2 月中にはまとめまして、3 月市議会全員協議会にかけていただいて、パブリックコメントを 3 月 4 月に行う予定です。

下に計画策定スケジュールを載せてありますが、このような予定で進めていきたいと考えています。

以上です。

○本多教育長 教育振興基本計画の策定について御意見、御質問等ありましたらお願いします。

○赤羽教育次長 1 件補足ですが、5 ページの「2 計画の位置付け」の中の図の網かけになっている部分、一番右の「個別分野の計画」に駒ヶ根市こども計画から 5 つの計画が載っています。

この中の駒ヶ根市こども計画は、6 月の教育委員会でお諮りしまして、市のほうで補正予算をつけて、子ども・子育て支援事業計画というものを策定する予定でいたものを、6 月に計画を変更してこども大綱にのっとったこども計画を策定することとしました。そちらのほうも今並行して進めております。今、委託事業者とアンケート調査や資料の集計をしてつくっておりますので、次回の定例教育委員会で素案的なものがお示しできるかと思います。

あとのものについてはこれまでに計画策定が済んでおりますので、こちらが新しいものになります。

○木下委員 新しくなる、これから変わってくるのはその点ですね。

○赤羽教育次長 そうです。

○本多教育長 よろしいでしょうか。

○倉田教育総務係長 何かお気づきの点があれば私のほうに言っていただければと思いますので、もしお読みいただいて御意見があれば、なるべく早めにいただければと思います。

○唐澤教育長職務代理者 今 1 ついいですか。8 ページの「12 生涯学習の支援と推進体制の整備」、一番右の欄の一番下に「△高齢者の年齢意識の変革により、アクティブシニア層の増加により受講生が減少している。」とあるのですけれども、これはどういうことですか。自分でやりたいことがあって公民館の講座には来ないということでしょうか。

○木下社会教育課長 公民館のほうには高齢者学級というものがあり、大体 65 歳以上の皆さんが参加くださっています。しかし、65 歳を過ぎても壮年期の意識があって、70 歳になっても、70 歳を超えても、自分は高齢者ではないと言って別の学級に入って活動することは、今は幾らでもあるかと思います。高齢者がまとまって学ぼうとすることが少なくなってきました。そういう意味でアクティブシニア層というような言い方をさせていただいたわけです。

生活様式や意識が昔の高齢者の方とはちょっと違うのではないかというように考えております。

○本多教育長 よろしいですか。

○唐澤教育長職務代理者 はい。

○本多教育長 三角の表記は、こういうことが課題だとか、今後の改善点として、前向きに検討していくわけですね。

○倉田教育総務係長　そうです。

○本多教育長　８ページの１０番の最後の三角ですが、このこともどのように整備していくか課題かと思います。

では、またじっくりお読みいただいて、何かありましたらできるだけ早めに倉田教育総務係長のほうにお知らせいただきたいということでもありますので、よろしくお願いいたします。

６ 報告事項

（１）行事共催等承認申請の専決処分について

○本多教育長　報告事項のほうに移ります。

行事共催等承認申請の専決処分について、お願いします。

○宮澤教育総務係　資料１２ページを御覧ください。

今回は、申請は１５件で、全て後援の申請でした。

新規の申請はありません。

全て承認となっております。

以上です。

○本多教育長　新規はないということで、例年承認していただいているものを再度承認ということでございます。

１５件、全て後援ということです。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長　ありがとうございました。

７ その他

（１）市内小中学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について

○本多教育長　それではその他のほうに移ります。

市内小中学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について、お願いします。

○倉田教育総務係長　資料１３ページを御覧ください。

令和６年度の小中学校の卒業式と令和７年度の小中学校の入学式についてです。

教育委員さんにはそれぞれ出席していただくようになりますので、教育長と相談をしてこのように割り振らせていただいております。

竜西の委員さんは竜西で、竜東の委員さんは竜東で、大体毎年交代で出席していただくような形で作らせていただいております。

以上です。

○木下委員　卒業式、入学式の両方が、中沢小学校、東伊那小学校は同じところに行くようになっておりますけれども、私は今まで中沢小学校の卒業式に出たら東伊那小学校の入学式に行くということになっていましたが、このままでよろしいですか。

○倉田教育総務係長　小池委員は初めてなので、このように担当を割り振らせていただきました。

○木下委員　小池委員さんはよろしいでしょうか。

○小池委員　これで行かせてもらえればと思います。

○本多教育長 次回からは交代して出席をお願いできればと思います。

○小池委員 はい。

○本多教育長 簡略化ということが県や国から出ているかと思いますが、それぞれの地域性等があり、今まで大切にしてきたものをもし変えるようなことがあっても協議の上で検討してやっていってもらえればと思います。

真ん中の右側に四角で囲ってありますけれども、座席は主催側ですので、校長の隣になると思いますので、よろしくお願いいたします。

2月の定例教育委員会で文例は出ますが、あくまでも文例でございますので、教育委員さんたちが御自身の色を出していただければと、お願いしたいと思います。

ほかにはよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

（２）第２回定例会、第３回臨時会の開催について

○本多教育長 続きまして、第２回定例会、第３回臨時会の開催について、お願いします。

○倉田教育総務係長 資料１４ページを御覧ください。

2月定例教育委員会の後に臨時会を開かせていただいて協議事項等にあります内容を協議いただきたいと思っております。

定例教育委員会終了後なので、そのままの流れで出席していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○本多教育長 先ほども説明したとおりでございます。よろしくお願いいたします。

予定した協議事項等々は終わりますけれども、全体を通して何か御質問等ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

８ 閉会

○本多教育長 それでは、以上で令和７年駒ヶ根市教育委員会第１回定例会を終了いたします。
お疲れさまでした。

午後２時３２分 閉会

駒ヶ根市教育委員会会議規則第 25 条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員
